



日本書紀にも登場し、出雲国(島根県)出身を伝えられている、相撲の元祖「野見宿禰」をたたえる顕彰祭が、上赤名会館で行われました。

顕彰祭では、赤穴八幡宮倉橋宮司の祝詞の奏上後、野見宿禰赤名相撲甚句会の皆さんが相撲甚句を奉唱。玉串をお供えし、野見宿禰の功績をたたえましました。

顕彰祭後には、相撲甚句会の今後の活動等についての話し合いも行われました。



顕彰碑建立5周年
野見宿禰顕彰祭



会場には唄声と合いの手が響きました



北海道を中心に開催された「北海道総体2023」の剣道競技に、大社高校3年生の松田良盛さん(下来島出身)が出場されました。

松田さんは今大会で、男子団体戦に出場し、3位の成績を収められました。松田さんは「高校入学から、最後のインターハイで優勝するため、稽古をしてきました。多くの方々を支えられ、3位という結果で終わることができ、よかったです。この経験を糧に、今後も頑張ります」と話していました。



全国高校総体剣道競技
松田良盛さんが団体で全国3位に



仲間たちと励まし合って厳しい稽古を乗り越えた成果を発揮



7月下旬から8月中旬にかけて、町内各地で盆踊りが行われました。コロナウイルス感染症の5類への移行により、町内でのイベントが再開される中、お盆の風物詩である盆踊りが各地区で開催。来島地区では50年振りの開催となりました。

町民だけでなく、お盆に帰省した方なども多く訪れ、浴衣姿が夏の夜を彩りました。



浴衣姿であでやかに
町内各地で盆踊り



代表として誓いの言葉を述べる岡夢乃さん(上赤名出身)

「飯南町二十歳のつどい」を来島交流センターで開催しました。今年度の対象者は平成14年4月2日から平成15年4月1日までに生まれた人です。

式典には21人が出席。来賓による祝辞、記念品受領の後、代表者が誓いの言葉を述べました。

式典後には、交流会や恩師との再会もあり、思い出話に花が咲き、会場には笑顔が溢れました。

大学生の原悠大さん(頓原出身)は「成人としての自覚を持ち、目標に向けて頑張ります」と話していました。



ふるさとへの想いを胸に
二十歳のつどい



思い出の写真を見て、会話が弾みます



全員笑顔で記念撮影

